

除草清掃で地域の環境を改善

6班の作業は県道との交差点周辺、これだけの面積を瞬間にきれいに仕上げました

6月21日、市道の管理作業として除草清掃が実施されました。地域道を市道に格上げする際の条件で、管理作業を地元がすることになっているものです。



6班の除草作業は、刈り取った草木の処理を市にお願いしましたので、草の大きな山ができていました。

3・4班の担当か所では路側の立木野枝の処理を行いました。今までの作業でこうした枝葉処理をしたことはあまりありません。しかし、樹木を大きくするばかりですから、今後はこうした作業も



毎回の難所、公有地の除草は地形が複雑

毎回考えておく必要があるでしょう。今回は47名の参加者がありました。八方原森下線だけでも1000メートル以上になりますが、しっかりと分担当を決めて行えば、そう大きな負担にはならなかったと思います。

このような環境性にかかわる共同作業も中止にしている自治会も少なくありません。「三密」の回避ということのようですが、屋外で十分な間隔を取れるものですから、中止にする必要はないと考えています。

「八方原の環境を守る会」の総会を書面決議方式で開催

先月、会員の皆様に八方原の環境を守る会の令和元年度活動報告、収支報告と令和2年度の活動計画と予算案をご自宅に配布しました。総会を開くことが適切でないということで「書面決議」をお願いしたものです。

5月末日までにご意見、ご質問をお受けしますとしておりましたが、メール、ファックス、電話その他のいずれの方法でも連絡がございませんでした。従いまして、今回のすべての議案について承認されました。

市とのやり取りから今年の交付金額が内示されています。長寿命化の交付金額は、私たちの予定していた予算額より絞られてきました。また新型コロナウイルス関連の予算拡大の影響で、交付金もこれ以上の変更があるかも知れません。

これまでにない厳しい状況があるかも知れないと考えているところでは、

国際的な取引の関係が一瞬にして崩れてしまうことの恐ろしさを実感した今、足元の食料生産、環境保全の大事さを一層深く考えています。

農事組合法人大忙し

収穫、耕うん 植え付け

6月3日、最後の麦刈りが行われていました。大型コンバイン3台がフル稼働。しつかり熟れた麦を刈り取っていきます。

麦畑には鳥の巣や、野ネズミ、カエルなどがたくさんいたようで、それらを狙う大型の鳥が、コンバインの動きを合わせて移動しながら、捕食していました。



「生き物を傷めないように、よく見ながら操縦するんだ」と話してくれました

警戒心の強いサギなども、カメラを気にすることなく、麦畑を歩き回っていました。

刈り取りが終わるとすぐに、畑を水田にする作業が始まります。今度はトラクターがフル回転、早朝からうなりをあげていました。

梅雨に備えて水路清掃



6月5日、八方原を流れる九田川の清掃が近隣の事業所の方々を中心に行われました。これは5月15日に予定されていたものが、悪天候のために延期されたものです。

水路から土砂を引き上げるのが重労働

事業所関係18名、環境を守る会の有志5名の23名で作業を行いました。水路の曲がり角に必ず土砂のたい積があります。30分の作業でみるみるうちに水路がきれいになりました。

畑の耕うんが終わると、すぐに水が当てられ、今度は田植えのための代かき作業です。

それが終わるとすぐに田植えの準備。



田植えは、周りのサポートが重要

地域の圃場全体を3分割して、作業を効率よく薦めていきます。

今年の小郡踊り振興はお休み

6月7日、小郡総踊り振興会の理事会が行われました。ふしの夏まつりが開催されませんが、今年の市への補助金申請をしないことが決まりました。つまり各地区への踊りの指導もしない、一切の活動をしないということになりました。

各地区でも夏まつりや、盆踊り大会を殆ど中止することです。新型コロナウイルス感染防止のためには、こうした行事は行うことができません。早く終息すると良いですね。

石碑に刻まれた歴史



平川地区黒川、大きなショッピングセンターができて賑わっています。九田川の東岸は山口リハビリ病院などがあります。大きな農地がひろがっています。

中ほどに大きな石碑がありましたので、近づいてみますと耕地整理竣工記念の「紀年碑」でした。

大正3年3月に着工し、大正7年5月に完成したこと、面積は113町



右上の建物は山口リハビリ病院

8反3畝、総工費が5万920円だったと記録されています。当時としては、歴史的な事業だったのでしょうね。